令和８年 11 月 24 日

東京都知事
　小池　百合子　様

東京都議会自由民主党
幹事長　ほっち　易隆

補正予算編成についての緊急要望

近年、自然災害が激甚化・頻発化する中、熊本地震や千葉豪雨では甚大な被害が生じ、避難環境の改善やライフラインの強靭化、都市型水害への対応など、防災上の様々な課題が改めて浮き彫りとなりました。こうした災害の教訓を踏まえ、東京の災害対応力を一層高めていくことが重要です。

また、サイバー攻撃が巧妙化・高度化し、個人情報の流出等の被害が相次ぐなど、国民生活や経済活動、重要インフラへの脅威が一層深刻化しており、国においても、官民一体となった対策強化の方針が示されています。

こうした中、我が国の中枢機能が集積する首都東京において、自然災害やサイバー攻撃に的確に備え、都民生活や事業活動を守るため、都は様々な危機や脅威を想定し、実効性ある対策を迅速に講じる必要があります。

加えて、都民の暮らしに直結する課題として、増大する火葬需要への対応も急務となっています。

そこで、東京都議会自由民主党は、下記の事項を第四回都議会定例会に提出される補正予算に盛り込むよう、強く要望します。

記

（防災対策）

１　避難所の電源確保や暑さへの対応の観点から、都有施設や区市町村施設における太陽光発電設備・蓄電池の導入や断熱化など、災害時のレジリエンス向上に資する取組を積極的に推進すること

２　帰宅困難者等の安全な受入れに資する一時滞在施設の浸水対策や、アンダーパス等の冠水による事故防止の取組、排水能力の強化や雨水バイパス管の整備など、来年の夏に備えた豪雨対策に迅速に取り組むこと

３　避難所の生活環境の改善や迅速な応急復旧に万全を期すとともに、都民への防災情報の発信を充実し、社会福祉施設や中小事業者におけるＢＣＰの策定、止水板をはじめ防災資器材への支援を拡充するなど、災害への備えを強化すること。あわせて、既存住宅の断熱化や太陽光発電設備の導入を一層促進し、脱炭素化と住宅の災害対応力向上に向けた取組を加速すること

（サイバーセキュリティ）

４　都におけるセキュリティ点検の徹底や専門人材の確保、即応体制の強化を進めるとともに、区市町村が取り組むセキュリティ対策への支援を充実し、東京全体の対応力強化を図ること

５　サイバー攻撃の脅威から、都民生活や経済活動、教育環境を守るため、中小企業や医療機関、私立学校等におけるサイバーセキュリティ対策への支援を一層強化すること

（火葬需要への対応）

６　将来の火葬需要の増加に対応するため、区市町村の火葬能力強化に向けた支援を行うとともに、都においても火葬能力の拡充等に向けた取組を推進すること

以上